

富士市立高等学校屋外運動場人工芝改修工事

仕 様 書

令和 7 年 5 月

富士市教育委員会
富士市立高等学校

本仕様書は、富士市立高等学校屋外運動場人工芝改修工事に適用する。

1 工事名称

富士市立高等学校屋外運動場人工芝改修工事

2 工事の目的

富士市立高等学校の運動場表面の人工芝は経年により摩耗劣化が進んでおり、張替時期を迎えている。このため、体育の授業、部活動、地域との交流事業等を安全に実施していくため改修工事を行う。

3 工事場所

施設名 富士市立高等学校屋外運動場
所在地 富士市比奈 1654 番地

4 工事内容

本工事は、既存の人工芝を撤去し、新たに人工芝の敷設等を行うものである。

また、これらに付随して必要となる業務は、全て本工事に含むものとする。

(1) 施工範囲

富士市立高等学校屋外運動場 13,215 m²

(2) 施工数量

ロングパイル人工芝部	10,028.8 m ²
ライン埋込 白	1,122.0m (サッカー:720m、フットサル:402m)
ライン埋込 黄	34.6m
ポイント埋込	1 式
砂入り人工芝部	2,832.6 m ²
走路ライン埋込	300.0m (W=50)
練習走路改修部	341.4 m ² (スロ-フ : 195.2 m ² 、幅三段飛び:146.2 m ²)
走路ライン塗装	425.0m (W=50)
ゴムチップ舗装部	12.2 m ² (走り高跳び踏切)

(3) 設計・施工

発注者に承諾を受けた設計図に基づき、以下の工事を行うものとする。

- ア 既存の人工芝の撤去処分
- イ 下地改修・不陸補正（排水も含む。）
- ウ 路盤表面固化工事
- エ 人工芝敷設工事（ライン埋込、ポイント埋込含む。）
- オ 練習走路改修（洗浄、トップコート吹付、走路ライン塗装、ゴムチップ舗装）

カ 関係機関等との協議、各種申請、届出等に関する手続は、本事業に含むものとし、これらに要する費用は、受注者の負担とする。

(4) 提出書類

- ア A 1（又はA 2）二つ折り製本 : 2部
- イ A 3縮小二つ折り製本 : 2部
- ウ 図面データ（CD又はDVD） : 2組（設計図をPDF及びJWWに変換したもの）
- エ 「富士市建設工事執行規則」、「静岡県土木工事共通仕様書」、「静岡県土木工事施工管理基準」、「公園緑地工事共通仕様書」、「富士市建設工事検査規程」その他静岡県の基準に基づく成果品

5 仕様

(1) 目的物に関する事項

受注者は、既設人工芝の撤去後に【既設人工芝を撤去した時点の確認項目】の基準値が満たされていることを自主検査（管理者立会）により確認すること。また、基準値が満たされていない場合は、必要な不陸修正等を施し、基準値を確保した後、人工芝を敷設すること。（下地修正を見込んでおくこと。）

【既設人工芝を撤去した時点の確認項目】

項目	試験方法	基準値
傾斜	現場レベル測定	0～0.4%
平坦性	平坦性測定試験 (3mプロフィルメーター使用時)	各ライン2.4mm以下
基盤の透水性	基盤の透水性	15秒以下/300ml

※ ただし、取合部の基準値については、別途協議する。

(2) 人工芝等の仕様

ア 人工芝（ロングパイル）を構成する使用材料等の仕様は、以下のとおりとする。

項目	仕様
種類	ロングパイル人工芝
色	緑色
材質	温度上昇抑制機能付きポリエチレン製
製法（形状）	モノフィラメントヤーン
長さ（芝丈）	55mm以上
織度	13,200dtex以上
厚み	360μm以上とする。
充填材	細粒黒ゴムチップ及び特殊粒度調整珪砂

※ 上記仕様と同等又は同等以上のものとする。

イ 人工芝（砂入り）を構成する使用材料等の仕様は、以下のとおりとする。

項目	仕様
種類	砂入り人工芝
色	青色
材質	温度上昇抑制機能付きポリエチレン製
長さ（芝丈）	19mm
織度	8,200dtex以上
充填材	特殊粒度調整珪砂（17mm）

※ 上記仕様と同等又は同等以上のものとする。

ウ 練習走路部の仕様は、以下のとおりとする

- ・ 既存ゴムチップ部
洗浄の上、表面温度抑制効果のあるトップコート（クーリッシュコート同等以上）仕上げとする。
- ・ 走り高跳び踏切部
ポリオレフィンカラーチップを使用した透水性弾性舗装（ $t=15\text{mm}$ ）とし、表面温度抑制トップコート（クーリッシュコート同等以上）仕上げとする。
- ・ レーンライン（白）には無変色アクリルウレタン樹脂塗料を使用し、ライン幅50mmに塗布する。

(3) 人工芝等の条件

ア 日本サッカー協会（JFA）ロングパイル人工芝検査実施マニュアルによる製品検査を完了しており、公告発表時点で製品検査完了証の交付を受けた製品を使用すること。

イ 環境保護の観点から人工芝の充填材の流出防止対策を行うこと。また、充填剤に用いるチップは無臭気タイプとし、原料の製造者が明確なもので、有害物質が使用されていない安全性の保障がされていること。※別途、証明書を提出すること。

ウ 夏季の熱中症対策として、人工芝の表面温度を低減できる仕様にする。

エ パイルについては、1㎡から部分補修（切り取り・再敷設）が可能であること。

オ 【既設人工芝を撤去した時点の確認項目】を満たさなかった場合の不陸補正は、本契約の範囲内とする。

カ 工事で使用する人工芝製品について、材料承認を受けた製品と認められない場合には、敷設後であれば、全契約面積について張り替えること。

キ 敷設後、本工事の受注者は、JFAが示すフィールドテスト項目において基準値内であることを証明すること。

ク 上記オ、カ及びキの実施に伴う費用は、全て受注者の負担とすること。

(4) 留意事項

ア 競技ラインは本工事における発注図面に従うものとし、芝色は発注者の指示に従うものとする。なお、芝色は基準色（緑色及び青色）のほか、一般サッカー用ライン（白）及びマーキング（黄）を予定している。

イ 供用後に緊急的な補修等が発生した場合、迅速に対応できる体制が整っている人工芝を提案すること。

(5) 施工に関する事項

ア 完成年月日

令和8年2月27日（金）まで

ただし、施設利用の都合上、着工は令和7年11月17日（月）以降とする。

イ 施工計画

計画工程表、施工方法等については、任意様式（A3又はA4用紙）により別途提出すること。

ウ 建設副産物

現場から発生する建設副産物については、適正に処分すること。

エ 運動用具等の移動

物置やサッカーゴールなどの運動用具等は、工事施工に際し必要に応じて移動し、人工芝敷設後、元に戻すこと。

オ 安全管理

工事期間中においても学校活動中であるため、生徒等の安全を優先し、通行等に配慮するなど、安全管理を徹底すること。

(6) 提案を求める事項

ア 耐久性能

摩耗や不陸が生じにくく長期にわたる快適な利用が可能となる工夫

イ 温度抑制

夏季における地表の温度上昇を抑制する対策

6 施工条件

(1) 施工時間帯

原則として、午前8時30分から午後5時までとする。ただし、市が認めた場合は、この限りでない。

(2) 本工事は「富士市建設工事執行規則」、「静岡県土木工事共通仕様書」、「静岡県土木工事施工管理基準」及び「公園緑地工事共通仕様書」に基づき施工すること。また、現場監理・工事検査に関しては「富士市建設工事検査規程」及び静岡県の基準に適合させること。

(3) その他

下記の「7 参考資料」で判断できない施工場所の条件については、応募者が必要に応じて調査すること。

7 参考資料

(1) 位置図

(2) 施工箇所現況写真

(3) 富士市立高等学校屋外運動場人工芝改修工事（改修イメージ図）

(4) 富士市立吉原商業高等学校屋外運動場整備工事竣工図

※ 過去の資料であり、現場状況と一致していない可能性があるため注意すること。